

2023 10/1 (sun)

昼夜2回公演

昼 開場 13:30 開演 14:00
夜 開場 17:00 開演 17:30

静かなる情熱
きらめく熱き躍動

2023 ヤンユキ YANG YUKI PASSIONATE ERHU CONCERT
楊雪 情熱の二胡コンサート

特別ゲスト



二胡
楊興新



タンゴダンサー
漆原美影



シンセサイザー
細井豊



ピアノ
石田真弓



ペーイス
越阪部 智彦



パーカッション
浜野 滋



楊雪二胡楽団

ヤマハホール 東京都中央区銀座7丁目9-14

全席指定 ¥7,700 (税込)

楊雪
ファンクラブ
10%
会員割引

ご予約・お問い合わせ

WEB予約



イープラス



電話予約 TEL 03-6427-5402

楊雪音楽事務所 コンサート係

主催 楊雪音楽事務所 (豊島区国際アート・カルチャー特命大使 / SDGs 特命大使)

後援 中華人民共和国駐日本国大使館 文化部 (一財)日本中国文化交流協会 (公社)日本中国友好協会

Cast Profile

YANG YUKI PASSIONATE ERHU CONCERT



楊雪 (ヤンユキ) <二胡>

80年代より日本で活躍する父・楊興新の影響により幼少から二胡に触れ、2011年より二胡奏者としてプロデビュー。これまでに5つのアルバムをリリース。中国のコンクールにて2度の高位受賞。「題名のない音楽会」に出演。また、中国国内音楽最高学府である「中国北京中央音楽学院」民楽科・修士号取得。2度の北京校内公演を実施し、王府ホールでの公演は日本人初の開催となった。2021年10月、日経ホールにて帰国後初の東京公演を開催。2022年11月から同年12月にかけて、岡山・仙台・群馬の3都市コンサートツアーを、岡山市民会館大ホール、仙台電力ホール、高崎芸術劇場大劇場にて開催した。テレビ朝日、NHK、ラジオなど多数のメディアにも出演し、多方面から注目を集めている。また教育者として日本二胡学院東京大塚教室を設立し、国内で5校開校する。日本全国で二胡の音色が響き渡る未来を願い、2021年「日本二胡学院二胡検定試験」の実施・運営を開始した他、社会貢献事業にも力を入れている。



楊興新 (ヤンシンシン) <二胡>

中国国立瀋陽音楽大学で、ソリストとしての更なる技術向上に励むと共に、作曲法を学び、大学と瀋陽の政府から栄誉賞を授与される。独自に中国伝統楽器胡琴の可能性を追究。板胡としては初めて和音を奏でることを可能とした“三弦板胡”と曲「彝郷月夜(いきょうげつや)」の創作で、中国胡琴の歴史的発展に努める。

また、1981年に中国国家大賞を受賞するなど中国を代表する数々の賞を受賞。楊自ら曲を手がけ、オリジナルアルバムは、現在まで13枚をリリース。ジャンルを越え、国境を越え様々な文化を取り入れた楽曲を創作する。また、独自に開発した「立式演奏スタイル」は、1994年、日本で二胡の新たな世界を開拓した。1998年10月、皇居に参上し、皇后陛下(現・上皇后)御誕生日祝賀の席で祝賀演奏を披露する。



漆原美影 (うるしはら みかげ) <タンゴダンサー>

アルゼンチンタンゴに出会って5年目を迎えた2004年6月、タンゴ専門スタジオ【Tango Tokyo Academy】をオープン。同年7月【アジア選手権】に初出場、アジアチャンピオンになる。

同年8月、本場アルゼンチンにて世界最大規模の

【世界選手権】に初出場。ステージ&ピスタ両部門にて決勝進出。《初出場〜8年連続で世界ファイナリスト》として、ステージ部門&ピスタ部門の両方でトップ10入りを果たす。アルゼンチン・イタリア・ロシアなど7カ国の代表が出場した【Japan Open選手権】では、アジア人で唯一、サロン部門優勝・ステージ部門準優勝。【アジア選手権】では初出場で優勝。ステージ部門&ピスタ部門において、初代の両部門アジアチャンピオンとなる。現在は、アジア選手権審査員など多方面で活躍。優れた教授法が熱い支持を集めている。

楊雪二胡楽団

「楊雪二胡楽団」は、二胡奏者楊雪(ヤンユキ)が以前から取り組んできた社会福祉事業への貢献を目的に、自身が運営する日本二胡学院東京大塚教室にて楽団員を募り、2016年4月に設立された。高齢者福祉施設や障がい者支援施設への訪問演奏を始め、音楽イベントへの参加、東京大塚教室発表会での演奏など、各地、様々な場で活動中。楊雪のコンサートにも多数出演し、楊雪とともに舞台上で合奏を披露するなど、大舞台でも数多く活躍する二胡楽団である。2023年4月30日、設立7周年にして待望の「楊雪二胡楽団第一回コンサート」を開催、満員御礼となり好評を博す。



細井豊 (ほそい たか) <シンセサイザー>

1973年、名古屋にてセンチメンタルシティロマンス結成。大阪天王寺での春一番コンサートでデビュー。1975年、CBSソニーよりレコードデビュー。アメリカ西海岸、ウェストコーストの音楽を彷彿とさせる曲に、日本語の歌詞をのせるスタイルで、以来、数々のアルバムを発表する。2011年8月、センチメンタルシティロマンスNEW ALBUM「やっとかめ」を発表。2013年、過去のセンチメンタルシティロマンスの数々のアルバムを最新デジタル・リマスターにて発売。2022年08月、旧アルバム「シティ・マジック」がユニバーサルミュージックから発売。2023年でバンドとして50周年を迎える。個人的にも映画音楽なども含む様々な作曲や、様々なアーティストのステージやレコーディングでのサポートなど、多彩な活動を続けている。



石田真弓 (いしだ まゆみ) <ピアノ>

東京コンセルヴァトアール尚美 卒業。在学中よりプロ活動を開始。ベトナム国立水上人形劇団、ネパール民族楽団、舞踏家とのコラボレーション、アジア6カ国地域イベント参加などの海外交流公演を重ねる。2015年、日米オーケストラ『JAZZ FOR PEACE』New York 4ヶ所公演にて好評を博す。2022年発表になったアグネスチャンとのYouTube作品は、二作品を合わせて再生回数が40万回を超える。作編曲家としてCDブックや舞台音楽、国内外のアーティストへの楽曲を提供。夢は『花咲かじいさんのような音楽家になる事』。



越阪部智彦 (おさかべ ともひこ) <ベース>

中央大学モダンジャズ研究会出身。エレキベースは独学で学び、ウッドベースを安川大樹氏に師事。2004年、自己のリーダージャズバンドが「埼玉県民芸術祭2004in HANAZONO」に参加し、バンドに「グランプリ(埼玉県知事賞)」、個人にも「ベストプレイヤー賞」を受賞。現在、主にジャズを演奏する傍ら様々なジャンルのライブサポート、レコーディング、アレンジ提供をしている。古川本舗の楽曲「ピアノ・レッスン」にてアレンジ提供、ベーシストとしても参加。東方神起「愛をもっと」、AKB48等のレコーディングに参加、アニメ「臨死江古田ちゃん」ED曲の作詞作曲。



浜野滋 (はまの しげる) <パーカッション>

14歳よりドラムを始める。15歳からアランドーソンメソッドの水野オサミ氏に師事し、基礎、読譜、ポリリズムなどを学ぶ。高校時代はRockやPops、大学時代にはブラックミュージックと出会い、R&Bやファンク、soulを中心に演奏活動を行う。大学卒業後、バークリー音楽大学のオーディションに合格し渡米。Terri Lyne Carrington(Jazz), Mark Walker(Latin), D. Parks(Hip Hop)各氏に師事した。帰国後は様々なライブ、ツアーやレコーディングと並行して自宅スタジオにてプライベートレッスンを行う。

